

取扱説明書

DuraVision® FDS1702N

カラー液晶モニター

FDS1702NT

タッチパネル装着カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書およびセットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

- コンピュータとの接続から使いはじめるまでの基本説明についてはセットアップマニュアルを参照してください。
- ネットワーク接続に関する設定、操作については NetDA Manager の取扱説明書を参照してください。
- タッチパネルに関する設定、操作についてはタッチパネルドライバの取扱説明書を参照してください（FDS1702NT のみ）。
- 最新の取扱説明書は、当社の Web サイトからダウンロードできます。

<http://www.eizo.co.jp>



製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
- 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

モニターについて

この製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途の他、端末機器操作などの各種専用用途に適しています。

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げてくださいをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「[クリーニングの仕方](#)」(P.5) 参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は99.9994%以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはEIZOサポートにお問い合わせください。

パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

（タッチパネル使用時の注意事項）

・ タッチ操作時

次の点に注意してください。故障の原因となります。

- パネルを強く押したり、こすったり、突いたりしないでください。
- ボールペンや金属類などの硬い物でパネルをタッチしないでください。

この製品で使用する電波について

この製品は、2.4GHz 帯域と 5GHz 帯域の電波を使用しています。

この製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、次の注意をご確認ください。

次の機器などの近くでこの製品を使用しないでください。

- ・ 電子レンジ / ペースメーカーなどの産業・科学・医療用機器など
- ・ 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- ・ 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

上記の機器などは、無線 LAN と同じ電波の周波数帯を使用しています。

上記の近くでこの製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。

携帯電話・PHS・テレビ・ラジオをこの製品の近くでは、できるだけ使用しないでください。

携帯電話・PHS・テレビ・ラジオなどは、無線 LAN と異なる電波の周波数帯を使用しています。そのため、この製品の近くでこれらの機器を使用しても、この製品の通信およびこれらの機器の通信に影響はありません。ただし、これらの機器を無線 LAN 製品に近づけた場合は、この製品を含む無線 LAN 製品が発生する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。

この製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。

ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。

部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。

同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。

2.4GHz 帯使用の無線機器について

この製品の使用周波数帯では、電子レンジ、産業・科学・医療用機器などのほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- ・ この製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- ・ 万一、この製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数帯を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社までご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- ・ その他、この製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、当社までお問い合わせください。

2.4 DS/OF 4

2.4 : 2.4GHz の周波数帯域を使用する無線設備を表す。

DS/OF : 変調方式に DS-SS 方式、および、OFDM 方式を採用していることを表す。

4 : 想定される干渉距離が「40m 以下」であることを表す。

— — — : 全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

5GHz 帯使用時のご注意

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n			
W52	W52	W53	W56

- ご注意：
電波法により 5.2GHz 帯（W52）および 5.3GHz 帯（W53）は屋外での利用を禁じられています。屋外でご利用の場合は W56 のチャンネルのみを使用し、W52/W53 のチャンネルは使用しないでください。

クリーニングの仕方

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットやパネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナーは、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。
- パネル面とパネルの外枠との間に、液体が入らないように注意してください。

参考

- キャビネットやパネル面のクリーニングには ScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。

キャビネットやパネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせてやさしくふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に約 10 分の休憩を取ってください。

目次

モニターについて.....	3	3-6. EIZOロゴを表示/非表示にする.....	21
この製品で使用する電波について.....	4	3-7. DDC/CI通信の有効/無効を設定する (アナログ接続時のみ).....	21
クリーニングの仕方.....	5	3-8. 初期設定に戻す.....	21
モニターを快適にご使用いただくために.....	5	● ネットワークの設定情報をリセットする.....	21
目次.....	6	● カラー調整値をリセットする.....	22
第1章 はじめに.....	7	● すべての設定内容をリセットする.....	22
1-1. 特長.....	7	第4章 省電力機能について.....	23
1-2. EIZO LCDユーティリティディスクについて.....	8	4-1. 省電力モードについて.....	23
● ディスクの内容と概要.....	8	4-2. 電源ランプの表示を設定する.....	23
● NetDA Managerを使用するときは.....	8	4-3. モニターの自動明るさ調整を設定する.....	24
● タッチパネルドライバを使用するときは.....	8	4-4. ネットワークの電源制御機能を設定する.....	24
1-3. 基本操作と機能一覧.....	9	4-5. モニターの自動電源切断機能を設定する.....	24
● 調整メニューの基本操作方法.....	9	第5章 こんなときは.....	25
● 機能一覧.....	10	5-1. 画面が表示されない場合.....	25
第2章 画面を調整する.....	11	5-2. 画面に関する症状.....	26
2-1. 解像度を設定する.....	11	5-3. ネットワーク接続に関する症状.....	27
● 表示解像度.....	11	5-4. その他の症状.....	27
● 解像度の設定方法.....	11	5-5. タッチパネルに関する症状 (FDS1702NTのみ).....	28
2-2. 画面を正しく表示する.....	12	第6章 ご参考に.....	29
● ネットワーク接続の場合.....	12	6-1. オプションアーム取付方法.....	29
● アナログ接続の場合.....	12	6-2. モニター情報を表示する.....	30
2-3. カラーを調整する.....	16	6-3. ネットワーク設定情報を表示する.....	30
● 表示モード(カラーモード)を選択する.....	16	6-4. 仕様.....	31
● 詳細な調整をする.....	16	6-5. 用語集.....	37
● 各モードの調整項目.....	16	6-6. プリセットタイミング.....	40
● ブライトネス(明るさ)を調整する.....	17	付録.....	41
● コントラストを調整する.....	17	商標.....	41
● 色温度を調整する.....	18	ライセンス/著作権.....	42
● ゲインを調整する.....	18	VCCI.....	42
第3章 モニターの設定をする.....	19	その他規格.....	42
3-1. 音量を調整する.....	19	中国RoHS.....	43
3-2. 入力信号の切替方法を設定する.....	19		
3-3. 調整メニューの位置を変更する.....	20		
3-4. 表示言語を設定する.....	20		
3-5. 操作ボタンをロックする.....	20		
● 調整メニューでの調整/設定をロックする.....	20		
● すべての操作をロックする.....	20		

第1章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 17型画面
- 解像度1280 × 1024 対応
- LEDバックライト液晶パネル搭載
有害物質である水銀を含有していません。
- ネットワーク接続に対応
 - ネットワーク経由でコンピュータからの映像信号や音声信号を入力することができます。
 - 有線LAN規格：1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-Tに準拠
 - 無線LAN規格：IEEE802.11a / b / g / nに準拠ワイヤレス通信により、モニターとコンピュータが離れた場所でも設置が可能になります。
 - アクセスポイント機能を搭載
アクセスポイント機能を使用することにより、無線LAN接続したコンピュータからはもちろん、有線LAN接続したコンピュータからの接続も可能になります。
 - 各種USB機器のネットワーク経由での双方向通信も可能
モニターのUSBポートに接続したキーボードやマウスでコンピュータを操作したり、プリンタやUSBメモリなどのUSB機器をコンピュータから操作したりすることができます。
 - ネットワーク接続をおこなうための専用ソフトウェア「NetDA Manager」を用意
ネットワーク上のモニター検索やモニターへの接続、切断、ネットワークの設定などができます。
 - ミラーモード（複製）、移動モード（拡張）機能
コンピュータと同じ画面を表示するミラーモード、コンピュータの画面を拡張し別の画面を表示する移動モードなど、用途に合わせた使い方ができます。
 - 1台のコンピュータの画面を最大6台のモニターに表示し、操作することができます。
 - 接続先PC制限機能
事前にモニターとの接続を許可するコンピュータを登録することにより、モニターに接続できるコンピュータを制限することができます。
- ステレオスピーカー搭載
- 広範囲な動作温度/湿度に対応
 - 動作温度：0～40℃
 - 動作湿度：20～90%R.H.（湿球温度39℃以下、非結露状態）
- 24時間連続使用で2年間の長期保証
- アナログ抵抗膜方式タッチパネル搭載（FDS1702NTのみ）
Microsoft Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista / Windows XPに対応しています。手袋をはめたままでもタッチ操作が可能です。

1-2. EIZO LCDユーティリティディスクについて

この製品には「EIZO LCDユーティリティディスク」(CD-ROM)が付属しています。ディスクの内容やソフトウェアの概要は次のとおりです。

● ディスクの内容と概要

ディスクには、各種ソフトウェアおよび取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内のReadmeja.txtを参照してください。

項目	概要
画面調整パターン集	アナログ接続時の画面を手動で調整する際に役立つパターン集です。
NetDA Manager	ネットワーク接続をおこなうための専用ソフトウェアです。
タッチパネルドライバ ^{※1}	タッチパネルのドライバです。
NetDA Managerの取扱説明書 (PDFファイル)	
タッチパネルドライバの取扱説明書 (PDFファイル) ^{※1}	
モニターの取扱説明書 (PDFファイル)	
Readmeja.txtファイル	

※1 FDS1702NTの場合にのみ使用します。

● NetDA Managerを使用するときは

NetDA Managerのインストール方法、設定方法、操作方法などの詳細は、NetDA Managerの取扱説明書 (CD-ROM内) を参照してください。

● タッチパネルドライバを使用するときは

タッチパネルドライバのインストール方法、使用方法などの詳細は、タッチパネルドライバの取扱説明書 (CD-ROM内) を参照してください。

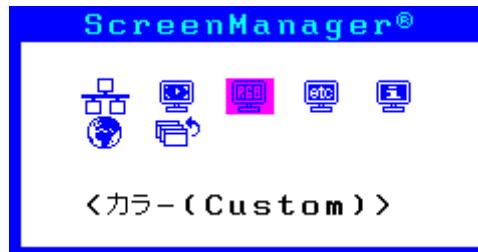
1-3. 基本操作と機能一覧

● 調整メニューの基本操作方法

1. 調整メニューの表示

1. ● を押し、調整メニューを表示します。

例：ネットワーク接続時

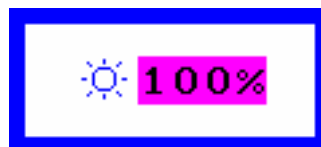


2. 調整/設定

1. ◀ または ▶ で、調整/設定したいメニューを選択し、● を押します。サブメニューが表示されます。



2. ◀ または ▶ で、調整/設定したい項目を選択し、● を押します。調整/設定メニューが表示されます。



3. ◀ または ▶ で、調整/設定し、● を押して確定します。

3. 終了




























1. サブメニューで<リターン>を選択し、● を押します。メインメニューが表示されます。
2. メインメニューで<メニューオフ>を選択し、● を押します。調整メニューが終了します。

参考

- をすばやく続けて2回押しても調整メニューを終了させることができます。

● 機能一覧

調整メニューおよび各メニューの設定項目の一覧表です。

メインメニュー	項目	参照先
ネットワーク 	 LAN電源モード	「4-4. ネットワークの電源制御機能を設定する」 (P.24)
	 リセット	「ネットワークの設定情報をリセットする」 (P.21)
自動調整※ ¹ 	 ピクチャー調整	「2-2. 画面を正しく表示する」 (P.12)
	 レンジ調整	
ピクチャー調整 	 クロック※ ¹	
	 フェーズ※ ¹	
	 水平ポジション※ ¹	
	 垂直ポジション※ ¹	
	 スムージング	
カラー※ ² 	 ブライツネス	「2-3. カラーを調整する」 (P.16)
	 カラーモード	
	 コントラスト	
	 K色温度	
	 ゲイン	
	 リセット	「カラー調整値をリセットする」 (P.22)
	その他 	 入力信号
 オフタイマー		「4-5. モニターの自動電源切断機能を設定する」 (P.24)
 メニューポジション		「3-3. 調整メニューの位置を変更する」 (P.20)
 Auto EcoView		「4-3. モニターの自動明るさ調整を設定する」 (P.24)
 電源ランプ		「4-2. 電源ランプの表示を設定する」 (P.23)
 リセット		「すべての設定内容をリセットする」 (P.22)
インフォメーション 		
言語選択 		「3-4. 表示言語を設定する」 (P.20)

※¹ アナログ接続の場合のみ。

※² <カラー>で調整/設定できる機能はモードにより異なります。

第2章 画面を調整する

2-1. 解像度を設定する

● 表示解像度

この製品の対応解像度については、「[対応解像度](#)」(P.34)を参照してください。

● 解像度の設定方法

モニターをコンピュータに接続したときに適切な解像度で表示されない場合、または解像度を変更したい場合は、次の手順で解像度を変更します。

Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 の場合

1. Windows 8.1 / Windows 8の場合、スタート画面から「デスクトップ」のタイルをクリックして、デスクトップを表示します。
2. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
3. 表示されるメニューから「画面の解像度」をクリックします。
4. 「画面の解像度」ダイアログボックスで、「識別」ボタンをクリックし、番号を表示します。
5. 「ディスプレイ」で解像度を変更したい番号のモニターを選択します。
6. 「解像度」をクリックして変更したい解像度を選択します。
7. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
8. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「変更を維持する」ボタンをクリックします。

Windows Vista の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
3. 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
4. 「画面の設定」ダイアログボックスの「モニタ」タブを選択します。
5. 「モニタの識別」ボタンをクリックし、番号を表示します。
6. 解像度を変更したい番号のモニターを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
7. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
8. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。

Windows XP の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
3. 「画面のプロパティ」ダイアログボックスで「設定」タブを選択します。
4. 「識別」ボタンをクリックし、番号を表示します。
5. 「ディスプレイ」で解像度を変更したい番号のモニターを選択します。
6. 「画面の解像度」で解像度を選択します。
7. 選択したら、「OK」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

参考

- ネットワーク接続の場合、タスクトレイの設定アイコンからも画面の解像度設定をおこなうことができます。詳細はNetDA Managerの取扱説明書(CD-ROM内)を参照してください。

2-2. 画面を正しく表示する

● ネットワーク接続の場合

ネットワーク接続時は、この製品の設定データに基づいて画面が正しく表示されますが、文字や線がぼやけている場合は、「6. 文字や線のぼやけを直します。」(P.15)にお進みください。

さらに詳細な調整をおこなう場合は「2-3. カラーを調整する」(P.16)以降を参照してください。

● アナログ接続の場合

注意点

- ・製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。
- ・垂直解像度が480以下の信号ではセルフアジャスト機能は働きません。
- ・セルフアジャスト機能/自動画面調整機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。次のような場合には、正しく動作しません。
 - コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合
 - 壁紙など背景を黒で使用している場合また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。

参考

- ・次の場合にセルフアジャスト機能が働きます。
 - モニターに初めて信号を入力した場合、または、これまでに表示したことのない解像度や垂直走査周波数、水平走査周波数に変更した場合

セルフアジャスト実行後も、画面が正確に表示されていない場合は、快適に使用していただくために、次の設定手順に従って画面の調整をしてください。

設定手順

1. 自動調整をします。

● 画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整する

設定方法

1. 調整メニューの<自動調整>を選択し、**⓪**を押します。
2. <自動調整>で<ピクチャー調整>を選択し、**⓪**を押します。
<自動調整>が表示されます。
3. **⓪**または**Ⓛ**で「実行」を選択して、**⓪**を押します。
自動調整機能が働き、画面のちらつき、表示位置、サイズが正しく設定されます。

自動調整を実行しても画面が正確に表示されていない場合は次の手順に従って調整をおこなってください。
正確に表示された場合は、「5. 色階調を調整します。」(P.15)にお進みください。

2. アナログ画面調整用のパターンを準備します。

「EIZO LCDユーティリティディスク」をコンピュータにセットし、「画面調整パターン集」を開きます。

参考

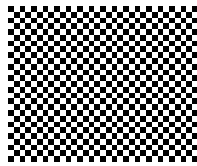
- ・「画面調整パターン集」の開き方および内容については、Readmeja.txtファイルを参照してください。

3. アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動調整をします。

● 画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整する

設定方法

1. 「画面調整パターン集」のパターン1を画面全体に表示します。



2. 調整メニューの<自動調整>を選択し、**●**を押します。
3. <自動調整>で<ピクチャー調整>を選択し、**●**を押します。
<自動調整>が表示されます。
4. **⌂**または**▶**で「実行」を選択して、**●**を押します。
自動調整機能が働き、画面のちらつき、表示位置、サイズが正しく設定されます。

自動調整を実行しても画面が正確に表示されていない場合は次の手順に従って調整をおこなってください。
正確に表示された場合は、「5. 色階調を調整します。」(P.15)にお進みください。

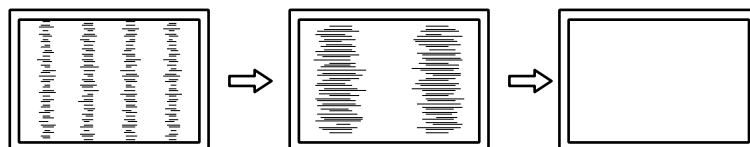
4. 調整メニューの<ピクチャー調整>で詳細な調整をします。

クロック→フェーズ→ポジションを順に調整します。

● 縦縞を消す

設定方法

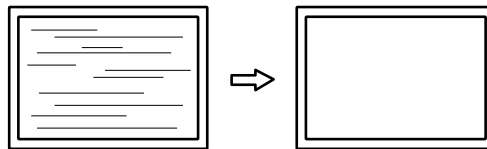
1. <ピクチャー調整>で<クロック>を選択し、**●**を押します。
<クロック>が表示されます。
2. **⌂**または**▶**で縦縞が消えるように設定します。
設定が合ったポイントを見逃しやすいので**⌂**/**▶**をゆっくり押して設定するようにしてください。
3. 設定が完了したら**●**を押します。
設定後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「ちらつきやにじみをとる」に進み設定をおこなってください。



● ちらつきやにじみをとる

設定方法

1. <ピクチャー調整>で<フェーズ>を選択し、●を押します。
<フェーズ>が表示されます。
2. ◀または▶で最もちらつきやにじみのない画面に設定します。
3. 設定が完了したら●を押します。
設定後、画面に縦縞が現れた場合は、「縦縞を消す」に戻り、再度設定をおこなってください。
(クロック→フェーズ→ポジション)



注意点

- ・お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくなるものがあります。

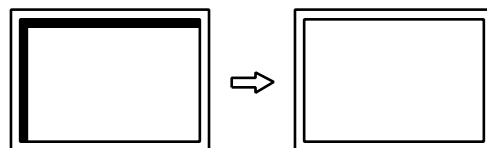
● 表示位置のずれを直す

参考

- ・液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

設定方法

1. <ピクチャー調整>で<水平ポジション>または<垂直ポジション>を選択し、●を押します。
<水平ポジション>または<垂直ポジション>が表示されます。
2. 画像の位置が合うように◀または▶で設定します。
3. 設定が完了したら●を押します。



4. パターン1を閉じます。

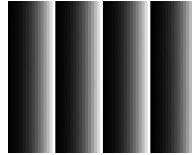
5. 色階調を調整します。

● 色階調を自動調整する

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0～255）を表示できるように調整できます。

設定方法

1. 「画面調整パターン集」のパターン2を画面全体に表示します。



2. 調整メニューの<自動調整>を選択し、**●**を押します。
3. <自動調整>で<レンジ調整>を選択し、**●**を押します。
<レンジ調整>が表示されます。
4. **⏪**または**⏩**で「実行」を選択して、**●**を押します。
出力レンジが自動的に設定されます。
5. パターン2を閉じます。

6. 文字や線のぼやけを直します。

● 文字や線のぼやけを直す

推奨解像度以外の解像度で表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。

注意

- 表示解像度によってはスムージングの設定をする必要はありません。（スムージングアイコンを選択することはできません。）

設定範囲

1～5

設定方法

1. 調整メニューの<ピクチャー調整>を選択し、**●**を押します。
2. <ピクチャー調整>で<スムージング>を選択し、**●**を押します。
<スムージング>が表示されます。
3. **⏪**または**⏩**で設定します。
4. 設定が完了したら **●**を押します。

2-3. カラーを調整する

● 表示モード（カラーモード）を選択する

モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

モードの種類

モード	目的
Custom	好みに応じた設定をおこなう際に選択します。
EyeCare	他のモードに比べて、画面の明るさを低く設定することができます。
sRGB	sRGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
Text	文書作成や表計算などの文字表示に適しています。

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>を選択し、**○**を押します。
2. <カラー>で<カラーモード>を選択し、**○**を押します。
3. **⏪**または**⏩**で設定します。
4. 設定が完了したら**○**を押します。

● 詳細な調整をする

調整メニューの<カラー>で、モードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

注意点

- ・製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。
- ・アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、最初にレンジ調整をおこなってください（「色階調を自動調整する」(P.15) 参照）。
- ・モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。






参考

- ・「%」、「K」表示は調整の目安としてご利用ください。

● 各モードの調整項目

モードの種類により、調整できる機能が異なります。（調整/設定できない機能は選択できません。）

○：調整可 —：調整不可

アイコン	機能名	カラーモード			
		Custom	EyeCare	sRGB	Text
	ブライトネス	○	○	○	○
	コントラスト	○	—	—	○
	色温度	○	○	—	○
	ゲイン	○	○	—	—
	リセット	○	○	○	○

● ブライトネス（明るさ）を調整する

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0～100%

設定方法

1. ◀または▶を押します。
ブライトネスメニューが表示されます。
2. ◀または▶で設定します。
3. 設定が完了したら ● を押します。

参考

- ブライトネスが100%でも暗いと感じた場合はコントラスト調整をおこなってください。
 - 調整メニューの<カラー> - <ブライトネス>で調整することもできます。
 - 自動的に画面の明るさを調整するには、「4-3. モニターの自動明るさ調整を設定する」(P.24)を参照してください。
-

● コントラストを調整する

ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0～100%

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>を選択し、●を押します。
2. <カラー>で<コントラスト>を選択し、●を押します。
<コントラスト>が表示されます。
3. ◀または▶で設定します。
4. 設定が完了したら ● を押します。

参考

- 50%ですべての色階調を表示します。
 - 画面の明るさは、初めに、階調特性を損なうことのないブライトネスで調整することをお勧めします。
 - コントラスト調整は次のような場合に使用してください。
-ブライトネスが100%でも画面が暗いと感じたとき。（コントラストを50%以上に設定します。）
-

● 色温度を調整する

色温度を調整します。

通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。

炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

設定範囲

オフ、5000K、6500K、9300K

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>を選択し、**○**を押します。
2. <カラー>で<色温度>を選択し、**○**を押します。
<色温度>が表示されます。
3. **⬅**または**➡**で設定します。
4. 設定が完了したら**○**を押します。

参考

- ・ <ゲイン>でさらに詳細な調整が可能です（「[ゲインを調整する](#)」（P.18）参照）。
 - ・ 「オフ」でパネル本来の色（ゲインの値はRGB各100%）になります。
 - ・ ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。
-

● ゲインを調整する

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。

設定範囲

0～100%

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>を選択し、**○**を押します。
2. <カラー>で<ゲイン>を選択し、**○**を押します。
<ゲイン>が表示されます。
3. 赤、緑、青それぞれの値を**⬅**または**➡**で設定します。
4. 設定が完了したら**○**を押します。

注意点

- ・ この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
-

参考

- ・ 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
 - ・ ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。
-

第3章 モニターの設定をする

3-1. 音量を調整する

スピーカーの音量を調整することができます。

設定範囲

0~20

設定方法

1. **Ⓜ**を押します。
音量メニューが表示されます。
2. **⓪**または**➡**で設定します。
3. 設定が完了したら**⓪**を押します。

注意点

- ・モニターからの音声出力は、ネットワーク経由でコンピュータと接続している場合にのみ有効です。（コンピュータとアナログ信号ケーブルで接続する場合は、音声の出力に対応していません。）
- ・音声を出力する場合は、ネットワークの「Device Filter」-「オーディオデバイスの接続許可」を「ENABLE」に設定する必要があります。詳細は、NetDA Managerの取扱説明書（CD-ROM内）を参照してください。
- ・ライン出力コネクタに接続した外部スピーカーの音量は、外部スピーカー側で調整してください。（モニターの音量は「0」にしてください。）

3-2. 入力信号の切替方法を設定する

設定	機能
オート	コンピュータ信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。ネットワークの接続が切断されたり、コンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入ったりすると自動的に他の信号を表示します。
マニュアル	表示中のコンピュータの信号のみを検知します。操作ボタンの Ⓜ で表示させたい入力信号を選択してください。

設定方法

1. 調整メニューの<その他>を選択し、**⓪**を押します。
2. <その他>で<入力信号>を選択し、**⓪**を押します。
<入力信号>が表示されます。
3. **⓪**または**➡**で「オート」または「マニュアル」を選択します。
4. 設定が完了したら**⓪**を押します。

参考

- ・「オート」が選択されている場合は、すべてのコンピュータが省電力モードに入っている場合のみモニターの省電力機能が動作します。

3-3. 調整メニューの位置を変更する

調整メニューの表示位置を移動できます。

設定方法

1. 調整メニューの<その他>を選択し、**⊙**を押します。
2. <その他>で<メニューポジション>を選択し、**⊙**を押します。
<メニューポジション>が表示されます。
3. **⬅**または**➡**で位置を移動します。
4. 設定が完了したら**⊙**を押します。

3-4. 表示言語を設定する

調整メニューやメッセージの表示言語が選択できます。

選択できる言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、中国語（簡体）、中国語（繁体）、日本語

設定方法

1. 調整メニューの<言語選択>を選択し、**⊙**を押します。
<言語選択>が表示されます。
2. **⬅**または**➡**で言語を選択します。
3. 設定が完了したら**⊙**を押します。

3-5. 操作ボタンをロックする

設定した状態を変更できないようにします。

● 調整メニューでの調整/設定をロックする

設定方法

1. **⊙**を押して、モニターの電源を切ります。
2. **⬅**を押しながら**⊙**を押してモニターの電源を入れます。
手順1、2を繰り返すとロック/ロック解除が切り替わります。

● すべての操作をロックする

設定方法

1. 画面表示中に**⊕**を押しながら**⊙**を5秒間押します。
この操作を繰り返すとロック/ロック解除が切り替わります。

3-6. EIZOロゴを表示/非表示にする

電源投入時の、EIZOロゴの表示/非表示を切り替えます。

設定方法

1. Ⓞ を押して、モニターの電源を切ります。
2. Ⓞ を押しながら Ⓞ を押してモニターの電源を入れます。
手順1、2を繰り返すと表示/非表示が切り替わります。

3-7. DDC/CI通信の有効/無効を設定する（アナログ接続時のみ）

DDC/CI通信の有効/無効を切り替えます（「6-5.用語集」（P.37）参照）。

設定方法

1. Ⓞ を押して、モニターの電源を切ります。
2. Ⓞ を押しながら Ⓞ を押してモニターの電源を入れます。
手順1、2を繰り返すと有効/無効が切り替わります。

参考

- ・ DDC/CIの有効/無効の状態は、<インフォメーション>で確認することができます。

3-8. 初期設定に戻す

リセットには次の3種類があります。

注意点

- ・ リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

参考

- ・ 初期値については、「主な初期設定値」（P.35）を参照してください。
- ・ ネットワーク設定情報の初期値は、NetDA Managerの取扱説明書（CD-ROM内）を参照してください。

● ネットワークの設定情報をリセットする

ネットワークの設定情報を初期設定に戻します。

設定方法

1. 調整メニューの<ネットワーク>を選択し、Ⓞ を押します。
2. <ネットワーク>で<リセット>を選択し、Ⓞ を押します。
3. Ⓞ または Ⓞ で「リセット」を選択します。
4. Ⓞ を押します。
ネットワークの設定情報が初期設定になります。

参考

- ・ NetDA Managerでもネットワークの設定情報を初期設定に戻すことができます（NetDA Managerの取扱説明書（CD-ROM内）参照）。

● カラー調整値をリセットする

現在選択しているモードのカラー調整値のみを初期設定に戻します。

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>を選択し、●を押します。
2. <カラー>で<リセット>を選択し、●を押します。
3. ◀または▶で「リセット」を選択します。
4. ●を押します。

カラー調整値が初期設定になります。

● すべての設定内容をリセットする

ネットワークの設定情報を除く、すべての設定内容を初期設定に戻します。

参考

- ・ ネットワークの設定情報を初期設定に戻す場合は、「[ネットワークの設定情報をリセットする](#)」(P.21)を参照してください。
-

設定方法

1. 調整メニューの<その他>を選択し、●を押します。
2. <その他>で<リセット>を選択し、●を押します。
3. ◀または▶で「リセット」を選択します。
4. ●を押します。

すべての設定内容が初期設定になります。

第4章 省電力機能について

4-1. 省電力モードについて

省電力モードに移行すると画面を非表示にします。

注意点

- ・ 主電源を切るか、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- ・ ステレオミニジャックケーブルが接続されている場合も消費電力は変化します。

省電力の流れ

アナログ接続の場合

「VESA DPM」に準拠しています。

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	青
省電力モード	スタンバイ サスペンド オフ	省電力モード	橙

ネットワーク接続の場合

「DVI DMPM」に準拠しています。

コンピュータの設定に連動し5秒後に省電力モードに入ります。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	青
省電力モード	省電力モード	橙

参考

- ・ 省電力モード時もモニターのネットワーク機能は動作しています。

省電力モードからの復帰方法

モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。

4-2. 電源ランプの表示を設定する

画面表示時の電源ランプ（青）の点灯/消灯の切り替えができます。

設定方法

1. 調整メニューの<その他>を選択し、**●**を押します。
2. <その他>で<電源ランプ>を選択し、**●**を押します。
<電源ランプ>が表示されます。
3. **⦿**または**⦿**で「有効」または「無効」を選択します。
4. 設定が完了したら**●**を押します。

4-3. モニターの自動明るさ調整を設定する

Auto EcoView（オートエコビュー）を「有効」にするとモニター下部のセンサーが周囲の明るさを検出し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。

注意点

- Auto EcoView機能を使用する場合はセンサーをふさがないように注意してください。

設定方法

1. 調整メニューの<その他>を選択し、**●**を押します
2. <その他>で<Auto EcoView>を選択し、**●**を押します。
<Auto EcoView>が表示されます。
3. **⦿**または**▶**で「有効」または「無効」を選択します。
4. 設定が完了したら**●**を押します。

参考

- Auto EcoViewの自動調整の範囲は、調整メニューの<ブライトネス>を調整すると、連動して変更されます。

4-4. ネットワークの電源制御機能を設定する

LAN電源モードを「連動」にするとモニターの電源オフに連動して、ネットワーク機能の電源もオフにすることができます。

表示方法

1. 調整メニューの<ネットワーク>を選択し、**●**を押します
2. <ネットワーク>で<LAN電源モード>を選択し、**●**を押します。
<LAN電源モード>が表示されます。
3. **⦿**または**▶**で「連動」または「非連動」を選択します。
4. 設定が完了したら**●**を押します。

参考

- 初期設定は「非連動」です。

4-5. モニターの自動電源切断機能を設定する

モニターの省電力モードが一定時間続いたときに、モニターの電源を自動的に切る/切らないの切り替えができます。

設定範囲

無効、有効 (0、1、2、3、5、10、15、20、25、30、45min、1～5h)

設定方法

1. 調整メニューの<その他>を選択し、**●**を押します。
2. <その他>で<オフタイマー>を選択し、**●**を押します。
<オフタイマー>が表示されます。
3. **⦿**または**▶**で「有効」または「無効」を選択します。
「有効」を選択した場合は、**⦿**または**▶**でモニターの電源が切れるまでの時間を選択します。
4. 設定が完了したら**●**を押します。

第5章 こんなときは

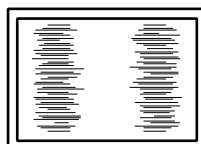
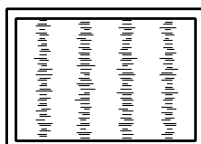
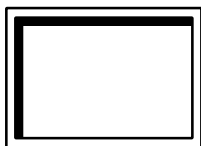
症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはEIZOサポートにご相談ください。


5-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない <ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯しない 	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードは正しく接続されていますか。 主電源を入れてください。 Ⓞを押してください。 主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
<ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯：青色 	<ul style="list-style-type: none"> 調整メニューの<ブライトネス>、<コントラスト>、<ゲイン>の各調整値を上げてみてください（「詳細な調整をする」(P.16) 参照）。
<ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯：橙色 	<ul style="list-style-type: none"> Ⓞで入力信号を切り替えてみてください。 マウス、キーボードを操作してみてください。 コンピュータの電源は入っていますか。
2. 次のようなメッセージが表示される	<p>この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 信号が入力されていない場合の表示です。 <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; color: blue;">入力信号チェック</p> <p style="text-align: center; color: blue;">アナログ</p> <p style="text-align: center; color: red;">信号無し</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 コンピュータの電源は入っていますか。 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 Ⓞで入力信号を切り替えてみてください。
<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; color: blue;">入力信号チェック</p> <p style="text-align: center; color: blue;">ネットワーク</p> <p style="text-align: center; color: red;">信号無し</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークケーブルは正しく接続されていますか。 ネットワークの設定を確認してみてください。 ネットワーク環境を確認してみてください。 Ⓞで入力信号を切り替えてみてください。
<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; color: blue;">リンク状態</p> <p style="text-align: center; color: blue;">ネットワーク</p> <p style="text-align: center; color: red;">接続なし</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの接続状態を確認してみてください。
<ul style="list-style-type: none"> 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。（範囲外の周波数は赤色で表示されます。） <p>例：</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; color: blue;">入力信号エラー</p> <p style="text-align: center; color: blue;">アナログ</p> <p style="text-align: center; color: red;">fH: 106.1kHz</p> <p style="text-align: center; color: red;">fV: 85.0Hz</p> </div> <p>fH：水平走査周波数 fV：垂直走査周波数</p>	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「対応解像度」(P.34) 参照）。 コンピュータを再起動してみてください。 グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

5-2. 画面に関する症状

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる/暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> 調整メニューの<ブライトネス>、<コントラスト>を調整してください。（液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZOサポートにご相談ください。） Auto EcoView（オートエコビュー）を「有効」にしてみてください。周囲の明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。
2. 文字がぼやけて見える	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「対応解像度」(P.34) 参照）。 推奨解像度以外の解像度で表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。調整メニューの<スムージング>で調整してみてください（「文字や線のぼやけを直す」(P.15) 参照）。
3. 残像が現れる	<ul style="list-style-type: none"> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
4. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	<ul style="list-style-type: none"> これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
5. 画面上に干渉縞が見られる/パネルを押した跡が消えない	<ul style="list-style-type: none"> 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
6. 画面が白っぽい、黒っぽい	<ul style="list-style-type: none"> 調整メニューの<コントラスト>で調整してみてください（「コントラストを調整する」(P.17) 参照）。
7. 動画を表示するとカクカクとした表示になる（ネットワーク接続時のみ）	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク環境が高負荷である可能性があります。動画再生や、頻繁に画面書き替えをおこなうソフトウェアを利用している場合、解像度を下げてください。 無線LAN接続している場合、電波の送信強度が弱い可能性があります。モニターの電波の送信強度を確認してください。電波の送信強度については、NetDA Managerの取扱説明書（CD-ROM内）を参照してください。 ご使用のコンピュータの性能によって、左のような症状が発生する可能性があります。
8. 画像がずれている（アナログ接続時のみ）	<ul style="list-style-type: none"> 調整メニューの<ポジション>で画像の位置を合わせてください（「表示位置のずれを直す」(P.14) 参照）。 グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
9. 画面に縦線が出ている/画面の一部がちらついている（アナログ接続時のみ）	<ul style="list-style-type: none"> 調整メニューの<クロック>で調整してみてください（「縦縞を消す」(P.13) 参照）。





症状	原因と対処方法
10. 画面全体がちらつく、にじむように見える (アナログ接続時のみ) <div style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> 調整メニューの<フェーズ>で調整してみてください (「ちらつきやにじみをとる」(P.14) 参照)。

5-3. ネットワーク接続に関する症状

ネットワーク接続に関する症状については、NetDA Managerの取扱説明書 (CD-ROM内) を参照してください。

5-4. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 調整メニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none"> 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください (「3-5. 操作ボタンをロックする」(P.20) 参照)。
2. すべての操作ボタンが効かない	<ul style="list-style-type: none"> 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください (「3-5. 操作ボタンをロックする」(P.20) 参照)。
3. 自動調整機能が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 自動調整機能はネットワーク接続時には動作しません。 この機能はWindows など表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。
4. 音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 音量が「0」になっていませんか。 コンピュータおよび音声を再生しているソフトウェアの設定を確認してください。 モニターからの音声出力は、ネットワーク経由でコンピュータと接続している場合にのみ有効です。アナログ信号ケーブルで接続しているコンピュータからの音声には対応していません。 ネットワークの「Device Filter」設定を確認してください。「オーディオデバイスの接続許可」が「DISABLE」になっていると、ネットワーク経由での音声を受信できません (NetDA Managerの取扱説明書 (CD-ROM内) 参照)。設定を「ENABLE」に変更した後は、「接続」() をクリックして、再度モニターとコンピュータを接続してください。
5. Blu-rayやデジタル放送の映像が再生できない	<ul style="list-style-type: none"> この製品はHDCPに対応していないため、著作権保護技術により保護された動画コンテンツは再生できません。
6. マウス/キーボードが動作しない (ネットワーク接続時のみ)	<ul style="list-style-type: none"> モニターとコンピュータが接続されている状態でUSB機器をモニターに接続しても、ネットワーク上では未接続状態となっています。「接続」() をクリックして、再度モニターとコンピュータを接続する必要があります。

5-5. タッチパネルに関する症状（FDS1702NTのみ）

注意点

- タッチパネルドライバのインストール方法、使用方法などの詳細は、タッチパネルドライバの取扱説明書（CD-ROM内）を参照してください。

症状	原因と対処方法
1. カーソル位置がずれる/カーソルが飛ぶ	<ul style="list-style-type: none">モニターの電源を入れなおしてみてください。それでも症状が改善されない場合は、キャリブレーションをおこなってください。1本の指でタッチするようにしてください。
2. タッチ操作が効かない	<ul style="list-style-type: none">他のログインユーザーが設定を変更した可能性があります。設定をやり直してください。タッチパネルドライバの設定ツールを再起動するか、コンピュータを再起動してください。Windows 7、Windows Vista、Windows XPをご使用の場合は、「タッチパネルドライバ プロパティ」画面の「デバイス」メニューにある「EEPROM有効」にチェックが入っていないか確認してください。チェックが入っている場合は、キャリブレーションをおこなってください。
3. タッチパネルの表面にたわみが生じる	<ul style="list-style-type: none">タッチパネルの構造上、高温多湿の環境ではタッチパネルの表面にたわみが生じることがあります。故障ではありません。

第6章 ご参考に

6-1. オプションアーム取付方法

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。対応しているオプションアーム（またはオプションスタンド）については、当社のWebサイトを参照してください。 <http://www.eizo.co.jp>

注意点

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA規格準拠のものを選択してください。取り付けには本体部分とスタンドを固定しているねじをご使用ください。
 - 取付部のねじ穴間隔：100mm×100mm
 - プレート部の厚み：2.6mm
 - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- アームまたはスタンドを使用する場合は、次の範囲（チルト角）で使用してください。
 - 上：45°、下：45°
- モニターを縦方向に回転させないでください。
- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- モニターおよびアームまたはスタンドは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因になります。

取付方法

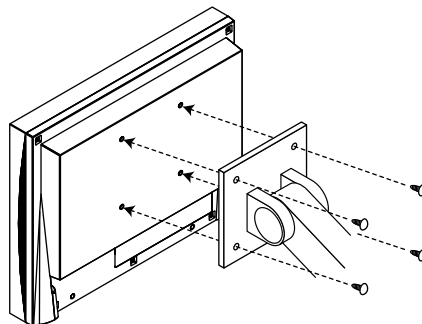
1. パネル面が傷つかないように、安定した場所にやわらかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンド部分を取り外します。

別途ドライバを準備してください。ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているねじ4箇所を取り外します。

3. モニターにアーム（またはスタンド）を取り付けます。

アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のねじを使って取り付けます。



6-2. モニター情報を表示する

入力信号、解像度、製品名、省電力の度合いなどを表示します。

インフォメーション1/4：入力信号、解像度、水平/垂直走査周波数

インフォメーション2/4：DDC/CI有効/無効

インフォメーション3/4：製品名、製造番号、使用時間

インフォメーション4/4：EcoView Index（電力削減量、CO₂削減量、省電力の度合いを示すインジケータ）

設定方法

1. 調整メニューの<インフォメーション>を選択し、**○**を押します。

<インフォメーション>が表示されます。

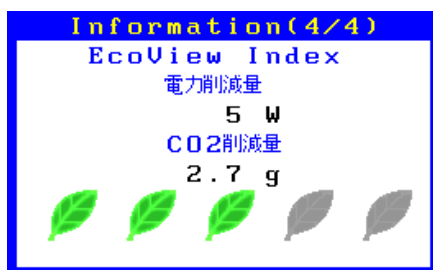
2. 続けて**○**を押して、設定状況などを確認します。

注意点

- 工場での検査のため、最初にモニターの電源を入れたときに使用時間が「0」ではない場合があります。

参考

- 電力削減量：ブライトネスの調整値に応じた、バックライト消費電力の低減量です。
- CO₂削減量：電力削減量から換算した、モニターを1時間使用した場合に削減できるCO₂排出量の目安です。
 - ※ 数値は「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令（平成18年経済産業省・環境省令第3号）に定めるデフォルト値（0.000555t-CO₂/kWh）」を元に算出しており、国、年度などによって変わる可能性があります。
- インジケータ：インジケータが右方向に点灯するにつれ、省電力の度合いが高くなります。



6-3. ネットワーク設定情報を表示する

ネットワーク設定、無線LAN設定、接続先コンピュータの登録設定を表示します。

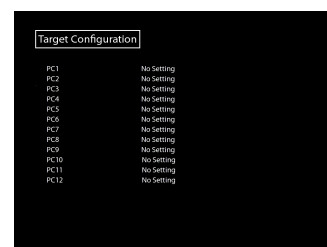
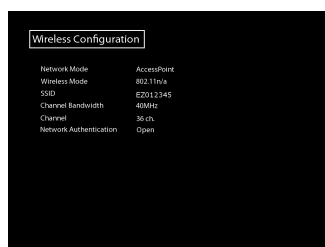
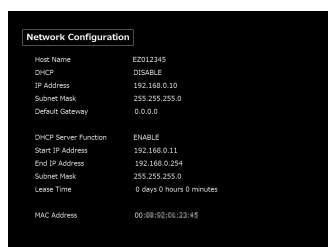
注意点

- コンピュータに接続していない場合にのみ表示されます。

設定方法

1. **Ⓜ**を押すたびに画面が切り替わります。

(「Network Configuration」 → 「Wireless Configuration」 → 「Target Configuration」)



6-4. 仕様

FDS1702N

液晶パネル	サイズ	43cm (17.0) 型			
	種類	カラーTFT、LEDバックライト			
	表面処理	アンチグレア、ハードコーティング			
	表面硬度	3H			
	視野角	左右170°、上下160° (CR≥10)			
	ドットピッチ	0.264mm			
	応答速度	黒→白→黒：約5.0ms			
解像度	1280ドット×1024ライン				
表示サイズ (水平×垂直)	337.9mm×270.3mm				
最大表示色	約1677万色				
映像	アナログ 信号入力	映像信号	アナログ、正極性 (0.7Vp-p/75Ω)		
		同期信号	セパレート、TTL、正/負極性		
		水平走査周波数	24.8~80.0kHz		
		垂直走査周波数	56.0~75.1Hz (ノンインターレース)		
		ドットクロック (最大)	135MHz		
		コネクタ	D-Sub15ピン (ミニ)		
音声	スピーカー出力	0.5W+0.5W			
	マイク入力コネクタ	ステレオミニジャック			
	ライン出力コネクタ	ステレオミニジャック			
LAN	対応OS	Microsoft Windows 8.1 (32ビット版/64ビット版) Microsoft Windows 8 (32ビット版/64ビット版) Microsoft Windows 7 (32ビット版/64ビット版) Microsoft Windows Vista (32ビット版/64ビット版) Microsoft Windows XP (32ビット版) (Mac OSには対応していません。)			
	有線LAN	規格	IEEE802.3ab (1000BASE-T)、IEEE802.3u (100BASE-TX)、IEEE802.3準拠 (10BASE-T)		
		対応プロトコル	TCP/IP		
		IP取得方法	手動、DHCP、BOOTP、HTTP、JCP (独自仕様)		
		伝送速度	1000Mbps、100Mbps、10Mbps (自動認識)		
		ポート	RJ-45 (Auto-MDIX対応)		
	無線LAN	規格	IEEE802.11b/g/a/n (Access Point (DFS対応)、AdHocは非対応)		
		使用周波数	IEEE802.11b/g	2.4GHz帯	
			IEEE802.11a	5GHz帯	
			IEEE802.11n	2.4GHz帯/5GHz帯	
		伝送方式	IEEE802.11b	直接拡散型スペクトラム拡散 (DS-SS方式)	
			IEEE802.11g/a/n	直交波周波数分割多重変調 (OFDM方式)	
		伝送速度	IEEE802.11b	11.0/5.5/2.0/1.0Mbps (自動認識)	
			IEEE802.11g/a	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動認識)	
	IEEE802.11n		300Mbps (最大) (自動認識)		
	チャンネル ^{※1}	IEEE802.11b/g	1~13ch		
		IEEE802.11a/n	2.4GHz：1~13ch (IEEE802.11nのみ)		
			5.2GHz：36/40/44/48ch		
			5.3GHz：52/56/60/64ch 5.6GHz：100/104/108/112/116/120/ 124/128/132/136/140ch		
	アンテナ	無指向性アンテナ×2			
最大表示台数	6台				
電源	AC100V±10%、50/60Hz、0.7A				

消費電力	画面表示時	41W以下	
	省電力モード時	8W以下（有線LAN1系統入力時、USB機器非接続時、「入力信号」：「オート」設定時、ステレオミニジャックケーブル非接続時）	
	電源オフ時	0.5W以下	
	主電源オフ時	0W	
USB	ポート	ダウンストリーム×2	
	規格	USB Specification Revision 2.0 準拠	
	通信速度	12Mbps（フルスピード）	
プラグ&プレイ機能		VESA DDC 2B/EDID structure 1.3	
寸法（幅）×（高さ）×（奥行き）	本体	367mm×360mm×157mm	
	本体（スタンドなし）	367mm×304mm×65.3mm	
質量	本体	約6.2kg	
	本体（スタンドなし）	約3.8kg	
可動範囲		チルト角度：上30°、下0°	
環境条件	温度	動作温度範囲	0°C～40°C
		輸送および保存温度範囲	-20°C～60°C
	湿度	動作温度範囲	20%～90% R.H.（湿球温度39°C以下、非結露状態）
		輸送および保存温度範囲	10%～90% R.H.（湿球温度39°C以下、非結露状態）
	気圧	動作温度範囲	700hPa～1060hPa
		輸送および保存温度範囲	200hPa～1060hPa

※1 使用可能なチャンネルは国によって異なります。

FDS1702NT

液晶パネル	サイズ	43cm (17.0) 型			
	種類	カラーTFT、LEDバックライト			
	視野角	左右170°、上下160° (CR≥10)			
	ドットピッチ	0.264mm			
	応答速度	黒→白→黒：約5.0ms			
解像度	1280ドット×1024ライン				
表示サイズ (水平×垂直)	337.9mm×270.3mm				
最大表示色	約1677万色				
映像	アナログ 信号入力	映像信号	アナログ、正極性 (0.7Vp-p/75Ω)		
		同期信号	セパレート、TTL、正/負極性		
		水平走査周波数	24.8～80.0kHz		
		垂直走査周波数	56.0～75.1Hz (ノンインターレース)		
		ドットクロック (最大)	135MHz		
		コネクタ	D-Sub15ピン (ミニ)		
音声	スピーカー出力	0.5W+0.5W			
	マイク入力コネクタ	ステレオミニジャック			
	ライン出力コネクタ	ステレオミニジャック			
タッチパネル	表面処理	アンチグレア			
	表面硬度	2H			
	検出方式	4線式アナログ抵抗膜方式			
	対応OS	Microsoft Windows 8.1 (32ビット版/64ビット版) Microsoft Windows 8 (32ビット版/64ビット版) Microsoft Windows 7 (32ビット版/64ビット版) Microsoft Windows Vista (32ビット版) Microsoft Windows XP (32ビット版) (Mac OSには対応していません。)			
LAN	対応OS	Microsoft Windows 8.1 (32ビット版/64ビット版) Microsoft Windows 8 (32ビット版/64ビット版) Microsoft Windows 7 (32ビット版/64ビット版) Microsoft Windows Vista (32ビット版/64ビット版) Microsoft Windows XP (32ビット版) (Mac OSには対応していません。)			
		有線LAN	規格	IEEE802.3ab (1000BASE-T)、IEEE802.3u (100BASE-TX)、IEEE802.3準拠 (10BASE-T)	
			対応プロトコル	TCP/IP	
			IP取得方法	手動、DHCP、BOOTP、HTTP、JCP (独自仕様)	
			伝送速度	1000Mbps、100Mbps、10Mbps (自動認識)	
	ポート		RJ-45 (Auto-MDIX対応)		
	無線LAN	規格	IEEE802.11b/g/a/n (Access Point (DFS対応)、AdHocは非対応)		
		使用周波数	IEEE802.11b/g	2.4GHz帯	
			IEEE802.11a	5GHz帯	
			IEEE802.11n	2.4GHz帯/5GHz帯	
		伝送方式	IEEE802.11b	直接拡散型スペクトラム拡散 (DS-SS方式)	
			IEEE802.11g/a/n	直交波周波数分割多重変調 (OFDM方式)	
		伝送速度	IEEE802.11b	11.0/5.5/2.0/1.0Mbps (自動認識)	
			IEEE802.11g/a	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動認識)	
			IEEE802.11n	300Mbps (最大) (自動認識)	
		チャンネル※1	IEEE802.11b/g	1～13ch	
	IEEE802.11a/n		2.4GHz：1～13ch (IEEE802.11nのみ)		
			5.2GHz：36/40/44/48ch		
			5.3GHz：52/56/60/64ch		
		5.6GHz：100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch			
		アンテナ	無指向性アンテナ×2		
		最大表示台数	6台		

電源	AC100V±10%、50/60Hz、0.7A		
消費電力	画面表示時	41W以下	
	省電力モード時	8W以下（有線LAN1系統入力時、USB機器非接続時、「入力信号」：「オート」設定時、ステレオミニジャックケーブル非接続時）	
	電源オフ時	0.5W以下	
	主電源オフ時	0W	
USB	ポート	ダウンストリーム×2	
	規格	USB Specification Revision 2.0 準拠	
	通信速度	12Mbps（フルスピード）	
プラグ&プレイ機能	VESA DDC 2B/EDID structure 1.3		
寸法（幅）×（高さ）×（奥行き）	本体	367mm×360mm×157mm	
	本体（スタンドなし）	367mm×304mm×65.3mm	
質量	本体	約6.7kg	
	本体（スタンドなし）	約4.3kg	
可動範囲	チルト角度：上30°、下0°		
環境条件	温度	動作温度範囲	0°C～40°C
		輸送および保存温度範囲	-20°C～60°C
	湿度	動作温度範囲	20%～90% R.H.（湿球温度39°C以下、非結露状態）
		輸送および保存温度範囲	10%～90% R.H.（湿球温度39°C以下、非結露状態）
	気圧	動作温度範囲	700hPa～1060hPa
		輸送および保存温度範囲	200hPa～1060hPa

※1 使用可能なチャンネルは国によって異なります。

対応解像度

- アナログ接続の場合

解像度	対応信号	垂直走査周波数	ドットクロック
640 × 400	NEC PC-9801, PC-9821 AP2	～70Hz	135MHz (Max.)
640 × 480	VGA, VESA	～75Hz	
720 × 400	VGA TEXT	70Hz	
800 × 600	VESA	～75Hz	
1024 × 768	VESA	～75Hz	
1152 × 864	VESA	75Hz	
1280 × 960	VESA	60Hz	
1280 × 1024※1	VESA	～75Hz	

VESA規格に準拠したグラフィックスボードが必要です。

※1 推奨解像度です。

- ネットワーク接続の場合

解像度	対応信号	垂直走査周波数	ドットクロック
640 × 480	VGA	60Hz	108MHz (Max.)
720 × 400	VGA TEXT	70Hz	
800 × 600	VESA	60Hz	
1024 × 768	VESA	60Hz	
1280 × 1024※1	VESA	60Hz	

※1 推奨解像度です。

主な初期設定値

LAN電源モード	非連動
スモーキング	3
カラーモード	Custom
入力信号	オート
オフタイマー	無効
Auto EcoView	有効
電源ランプ	有効
言語選択	日本語

・ ネットワーク（簡単設定）

基本設定

ホスト名	EZxxxxxx (xxxxxxはMACアドレスの下6桁)
ネットワークモード	AccessPoint

TCP/IP設定

DHCP	DISABLE
IPアドレス	192.168.0.10
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0

DHCPサーバー設定

DHCPサーバー機能	ENABLE
開始IPアドレス	192.168.0.11
終了IPアドレス	192.168.0.254
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0

無線LAN基本設定

SSID	EZxxxxxx (xxxxxxはMACアドレスの下6桁)
ネットワーク認証	Open

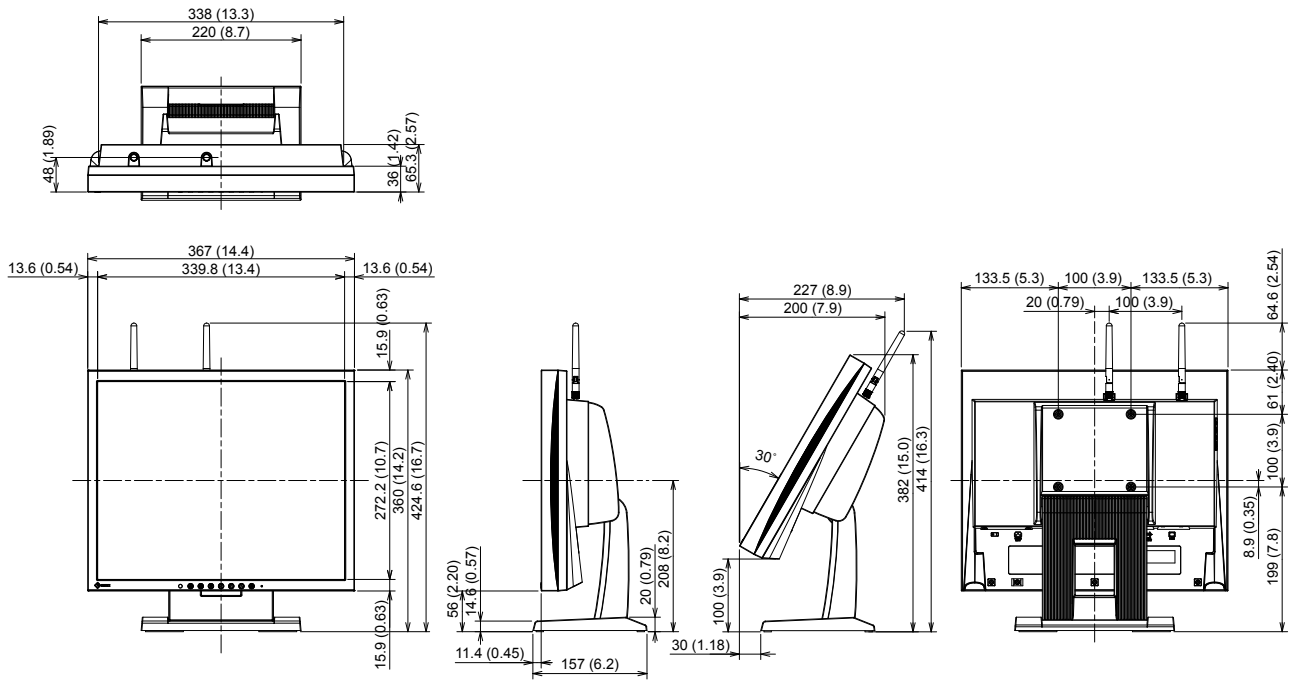
接続先PCの設定

PC 1	なし
------	----

外観寸法

• FDS1702N/FDS1702NT

単位：mm（インチ）



6-5. 用語集

アクセスポイント

無線LAN機器や有線LANなどの他のネットワークと接続するために設置する機器のこと。

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：Kelvin（ケルビン）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

5000K：やや赤みがかった白色

6500K：昼光色と呼ばれる白色

9300K：やや青みがかった白色

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。この機種の場合は横1280個、縦1024個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1280 × 1024の解像度であれば、画像は画面全体（1対1）に表示されます。

クロック

アナログ信号入力方式のモニターにおいて、アナログ信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスボードのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルタに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、画面上に表示されるすべての色は3色の組み合わせによって構成されます。3色のフィルタに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

サブネットマスク

IPアドレスのうち、サブネットを識別するネットワークアドレス部を指定するための数値です。

（サブネット：1つの大きなネットワークを複数のネットワークに分割して管理する場合の、分割されたネットワークを指します。）

フェーズ

アナログ信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことをお勧めします。

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをお勧めします。

DDC/CI (Display Data Channel/Command Interface)

VESAによって標準化された、コンピュータとモニター間で設定情報などを双方向にやりとりするための国際規格です。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

ネットワークに一時的に接続するコンピュータに、IPアドレスなど必要な情報を自動的に割り当てるためのプロトコル。DHCPで設定情報を提供する機能を持ったコンピュータやネットワーク機器をDHCPサーバーといいます。(本製品は初期設定でDHCPサーバーとして起動する設定になっています。)

DVI (Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。

伝送方式にTMDS、コネクタにDVIコネクタを採用しています。デジタル信号入力のみ対応のDVI-Dコネクタと、デジタル/アナログ信号入力可能なDVI-Iコネクタがあります。

DVI DMPM (DVI Digital Monitor Power Management)

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態についてはモニターオン(オペレーションモード)とアクティブオフ(省電力モード)が必須となっています。

Ethernetアドレス

ネットワーク機器に付与された48bitの識別番号のこと。固定的に割り当てられるもので、重複することがなく、各ネットワーク機器固有の番号です。MACアドレスともいいます。

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection)

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。

DVIコネクタやHDMIコネクタなどを經由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。

出力側と入力側の双方の機器がHDCP対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

IEEE802.11

IEEE (Institute of Electrical and Electronic Engineers: 電気・電子技術の学会) により策定された無線LANの標準規格の一つ。本製品は次の4種類に対応しています。

規格	周波数帯	伝送速度(最大)
IEEE 802.11a	5GHz帯	54Mbps
IEEE 802.11b	2.4GHz帯	11Mbps
IEEE 802.11g	2.4GHz帯	54Mbps
IEEE 802.11n	2.4GHz帯/5GHz帯	300Mbps

MAC (Media Access Control) アドレス

「Ethernetアドレス」を参照。

sRGB (Standard RGB)

周辺機器間 (モニター、プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなど) の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

SSID (Service Set Identifier)

無線LANにおけるアクセスポイントを識別するための名前のこと。複数のアクセスポイントが存在する場合に、接続するアクセスポイントを指定します。最大32文字までの英数字を任意に設定することができます。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

ネットワーク上で通信をおこなうためのネットワークプロトコルの1つ。TCP/IPのプロトコルを利用することにより、様々なOS間での通信が可能になります。

TMD5 (Transition Minimized Differential Signaling)

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

VESA DPM (Video Electronics Standards Association - Display Power Management)

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ (グラフィックスボード) 側からの信号の標準化をおこなっています。DPM はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T

IEEEにより策定されたEthernetの標準規格の一つ。本製品は次の3種類に対応しています。

規格	伝送速度
IEEE802.3準拠 (10BASE-T)	10Mbps
IEEE802.3u (100BASE-TX)	100Mbps
IEEE802.3ab (1000BASE-T)	1000Mbps

6-6. プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているアナログ信号のタイミングは次のとおりです。

注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置などがずれ、調整メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- 一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、調整メニューで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、調整メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

解像度	対応信号	周波数		
		ドットクロック： MHz	水平：kHz	垂直：Hz
640 × 400	PC-9801	21.05	24.83	56.42
640 × 400	PC-9821 AP2	25.18	31.48	70.10
640 × 480	VGA	25.18	31.47	59.94
640 × 480	VESA	31.50	37.50	75.00
720 × 400	VGA TEXT	28.32	31.47	70.09
800 × 600	VESA	40.00	37.88	60.32
800 × 600	VESA	49.50	46.88	75.00
1024 × 768	VESA	65.00	48.36	60.00
1024 × 768	VESA	78.75	60.02	75.03
1152 × 864	VESA	108.00	67.50	75.00
1280 × 960	VESA	108.00	60.00	60.00
1280 × 1024	VESA	108.00	63.98	60.02
1280 × 1024	VESA	135.00	79.98	75.03

付録

商標

VESAはVideo Electronics Standards Associationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows、Windows Vista、Windows Media、SQL Server、Xbox 360は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、Mac、Macintosh、iMac、eMac、Mac OS、MacBook、PowerBook、ColorSync、QuickTime、iBookはApple Inc.の登録商標です。

Adobe、Adobe AIR、Acrobat、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。

PowerPCはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。

PentiumはIntel Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

AMD Athlon、AMD OpteronはAdvanced Micro Devices, Inc.の商標です。

GRACoL、IDEAllianceはInternational Digital Enterprise Allianceの登録商標です。

ColorVision、ColorVision Spyder2はDataColor Holding AGの米国における登録商標です。

Spyder3はDataColor Holding AGの商標です。

Eye-One、ColorMunki、X-RiteはX-Rite Incorporatedの米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。

TouchWareは3M Touch Systems, Inc.の商標です。

NextWindowはNextWindow Ltd.の商標です。

RealPlayerはRealNetworks, Inc.の登録商標です。

NECは日本電気株式会社の登録商標です。PC-9801、PC-9821は日本電気株式会社の商標です。

プレイステーション、PlayStation、PSP、PS3は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

Japan Color、ジャパンカラーは社団法人日本印刷産業機械工業会および社団法人日本印刷学会の日本登録商標です。

JMPAカラーは社団法人日本雑誌協会の日本登録商標です。

ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiForce、RadiCS、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

C@T-one、FlexViewはEIZO株式会社の日本登録商標です。

ColorNavigator、EIZO EasyPIX、EcoView NET、EIZO ScreenSlicer、i・Sound、Screen Administrator、UniColor ProfはEIZO株式会社の商標です。

その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

ライセンス/著作権

オープンソースソフトウェアに対応するソースコードの頒布について

この製品にはオープンソースソフトウェアが含まれています。

オープンソースソフトウェアのうちGPL (GNU GENERAL PUBLIC LICENSE) の条件にて利用許諾されるものが含まれる場合には、GPLの利用許諾条件に従い、当社は下記のコンタクト情報宛にコンタクトしてきた個人、団体に対し、お買い上げ後、少なくとも3年間、実費にてGPLソフトウェアに対応するソースコードを、CD-ROMなどの媒体により頒布いたします。

また、LGPL (GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE) の条件にて利用許諾されるものが含まれる場合についても、上述のGPLの場合と同様の手続きにてソースコードを頒布いたします。

コンタクト情報

<https://www.tenawan.ne.jp/r/20101/0001/>

VCCI

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-A

その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

关于电子信息产品污染控制标识



本标识根据「电子信息产品污染控制管理办法」，适用于在中华人民共和国销售的电子信息产品。标识中央的数字为环保使用期限的年数。只要您遵守该产品相关的安全及使用注意事项，在自制造日起算的年限内，不会产生对环境污染或人体及财产的影响。上述标识粘贴在机器背面。

• 有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
印刷电路板	×	○	○	○	○	○
机箱	○	○	○	○	○	○
液晶显示器	×	○	○	○	○	○
其他	×	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。
 ×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。
 （企业可在此处，根据实际情况对上表中打“×”的技术原因进行进一步说明）

